Dell Latitude ST
オーナーズマニュアル

規制モデル： T02G
規制タイプ： T02G001

メモ、注意、警告

メモ: コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意: ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

警告: 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

2012 - 05

Rev. A00

目次

1

コンピューター内部の作業

コンピューター内部の作業を始める前に

コンピューターの損傷を防ぎ、ユーザー個人の安全を守るため、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。特記がない限り、本書に記載される各手順は、以下の条件を満たしていることを前提とします。

- 「コンピューター内部の作業を始める」の手順を実行していること。
- コンピューターに付属の「安全に関する情報」を読んでいること。
- コンポーネントは交換可能であり、別売りの場合は取り外しの手順を逆順に実行すれば、取り付け可能であること。

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属の「安全に関する情報」に目を通してください。安全に関するベストプラクティスについては、規制コンプライアンスに関するホームページ（www.dell.com/regulatory_compliance）を参照してください。

注意: 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくはテレホンサービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属のマニュアルに記載されている安全上の注意をよく読んで、その指示に従ってください。

注意: 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用するか、またはコンピューターの裏面にあるコネクターなどの塗装されていない金属面に定期的に触れて、静電気を身体から除去してください。

注意: コンポーネントとカードは丁寧に取り扱ってください。コンポーネント、またはカードの接触面に触らないでください。カードは端、または金属のマウンティングブラケットを持ってください。プロセッサーなどのコンポーネントはピンではなく、端を持ってください。

注意: ケーブルを外す場合は、ケーブルのコネクターかプルタブを持って引き、ケーブル自体を引っ張らないでください。コネクターにロッキングタブが付いているケーブルもあります。この場合、ケーブルを外す前にロッキングタブを押さえてください。コネクターを引き抜く場合、コネクターピンが曲がらないように、均一に力をかけてください。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクターが同じ方向を向き、きちんと並んでいることを確認してください。

メモ: お使いのコンピューターの色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

コンピューターの損傷を防ぐため、コンピューター内部の作業を始める前に、次の手順を実行してください。

1. コンピューターのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
2. コンピューターの電源を切ります（「コンピューターの電源を切る」を参照）。
3. コンピューターがオプションのメディアベースまたはバッテリースライスなど、ドッキングデバイス（ドック）に接続されている場合、ドックから外します。

注意: ネットワークケーブルを外すには、まずケーブルのプラグをコンピューターから外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。

4. コンピューターおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。

奨励するツール

この文書で説明する操作には、以下のようなツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバー
- #0 プラスドライバ
- #1 プラスドライバ
- 小型のプラスチックスクライブ
- フラッシュ BIOS アップデートプログラムの CD

コンピューターの電源を切る

注意: データの損失を防ぐため、コンピューターの電源を切る前に、開いているファイルはすべて保存して閉じ、実行中のプログラムはすべて終了してください。

1. オペレーティングシステムをシャットダウンします。
2. コンピューターと取り付けられているデバイスすべての電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしてもコンピューターとデバイスの電源が自動的に切れない場合、電源ボタンを約 4 秒間押したままにして電源を切ります。

コンピューター内部の作業を終えた後に

交換（取り付け）作業が完了したら、コンピューターの電源を入れる前に、外付けデバイス、カード、ケーブルなどが接続されていることを確認してください。

注意: コンピューターへの損傷を防ぐため、本 Dell コンピューター専用のバッテリーのみを使用してください。他の Dell コンピューター用のバッテリーは使用しないでください。

2

概要

10 インチのタッチ画面スレートでの Windows 7 オペレーティングシステムを特徴とする Dell Latitude ST は、タブレットのモバイル性とラップトップの管理性、セキュリティ、および互換性を兼ね備えています。

Latitude ST はタブレットプラットフォームという新たな分野を開拓することで、次のようなビジネスユーザーの独自のニーズに対応しています。

- ビジネスクラスのセキュリティ、管理性、および仮想化のサポート
- Intel Atom CPU および注釈へのペン入力が可能な完全マルチタッチ機能
- Microsoft Windows 7 Home Premium および Professional での、医療、教育、金融分野に向けた特色のある機能

企業クラスのセキュリティ機能を備えているため、使い慣れたオペレーティングシステムのインタフェースで、外出先でもビジネス文書の作成や編集を行うことができます。手頃なサイズや重さにより企業アプリケーションを持ち運ぶことが可能であり、またタブレットのマルチタッチ機能により使いやすさが向上します。Latitude ST では Windows Office のビジネスアプリケーション全一式を設定することができます。さらに、オプションのドッキングステーションを使用すれば、マウス、プリンター、HD ディスプレイ、および有線ネットワークにタブレットを接続することができます。N-Trig スタイラスやジェスチャーを有効にしたマルチタッチ画面を使用すれば、Latitude ST で簡単にメモを取ることができます。また、720 ピクセルの前面カメラと 5.0 MP の背面カメラも内蔵されています。Latitude ST は壊れにくくなるように設計されており、誤って落下させたとしても、ラバー製バンパーで保護します。さらに、Corning Gorilla Glass により、不測の事態が発生しても、画面への損傷はほとんどありません。

Dell Latitude ST は、幹部、営業マネージャー、医師、学生などが必要とする持ち運びやすさを追求し、薄くて軽くなるように作られています。短期出張や訪問販売などの際に、不可欠なシステムとしての役割を果たすことができます。この製品は、今日のノートブック、デスクトップ、およびワークステーションとほとんど同じ方法で管理できるように、基礎から一つ一つ設計されました。

インタフェース

次の表は、Latitude ST のインタフェースの一覧です。

表 1. Latitude ST のインタフェース

機能	説明
タッチ	入力デバイスとして指を使用できる機能。
Windows Journal	ペンまたはタッチから直接入力できる、ネイティブなメモ取りアプリケーション。
切り取りツール	ペンまたはタッチで画像データ（文書や写真など）の一部をキャプチャーするためのツール。
フリック	通常タスクに対するジェスチャーをアクティブにしたショートカット。
チェックボックス	ファイル選択のためのフォルダー内の目印。
カーソルフィードバック	タップ位置の目印。
タブレット入力パネル	キーボードの代わりに、ペンまたはタッチによりデータを入力するためのツール。

機能	説明
入力デバイス対応ツール	使用するペンまたはタッチに応じて、タブレット入力パネルおよびアイコンのサイズが変化。
タブレットカーソル	標準的なマウスポインターとは異なる、タブレット PC 機能専用のタブレットカーソル。
タッチウィジェット	右クリックの代用となるタッチモードで表示される単独ツール。
カーソルフィードバック	可視的なフィードバックにより、ターゲットに正しくヒットしていることを確認できる機能。

ペンの概要

Latitude ST ではいくつかの入力デバイスを使用します。標準的な外付け USB キーボードやマウスのほかに、静電気ペンを使うことができ、また入力デバイスとして自分の指を使うこともできます。

Latitude ST では、タブレット PC モードで、特別に設計された静電気ペンまたはスタイラスを使用します。スタイラスのエネルギー源は、バッテリー電源ではなく、デジタイザー内蔵の励振コイルが生成する磁気エネルギーです。スタイラスがコイルからの信号を受信することで、スタイラスは電場を送信します。

送信された電場は、スレート上の導電線マトリックスで検知されます。スタイラスの正確な位置は、垂直方向と水平方向の導体上で受信した低振幅の信号を使用することで確定します。このようにして、適正な信号がデジタイザーに搭載したプロセッサーに転送されるのです。

ペン情報

1. ペン
2. 消去ペンボタン
3. 右クリックペンボタン
4. ペン先
5. バッテリーを交換する際の取り外し可能なキャップ

ペンの調整方法

ペンはデフォルトの調整状態で使用することも、または各ユーザーがそれぞれに調整した状態で使用することもできます。使用するユーザーごとにペンを調整することをお勧めします。調整を行うことで、ペンの使い勝手をユーザーごとに最適な状態にすることができます。

1. **コントロールパネル**を開きます。
2. **タブレット PC 設定**をダブルクリックします。
3. タブレット PC 設定ウィンドウで、**Calibrate**（調整）をクリックします。
4. Calibrate pen（ペン調整）画面または touch input（タッチ入力）画面で、**Pen input**（ペン入力）を選択します。

スタイラスバッテリーとペン先の取り外し/差し込み方法

バッテリーを取り外す/差し込むには、ネジぶたを緩めます。'+' 印側から先に、バッテリーをスタイラスに差し込んでください。

ペン先を外すには、ペン先を持ってスタイラスから引き抜きます。スタイラスのペンの先頭に新しいペン先を取り付けます。

電子ペンの使用方法

Latitude ST ではいくつかの入力デバイスを使用します。標準的な外付け USB キーボードやマウスのほかに、静電気ペンを使うことができ、また入力デバイスとして自分の指を使うこともできます。

マウスとしてのペンの使用方法

ノートブックコンピューターでマウスやタッチパッドを使用するのと同じように、ペンを使用することができます。ディスプレイの近くでペンを握ると、小さなカーソルが表示されます。ペンを動かすとカーソルも移動します。次の表にペンの使用方法を示します。

表 2. 静電気ペンの使用方法

外観	動作	機能
	タブレット PC の画面をペン先で軽くタップします。	マウスでのシングルクリックと同じです。
	タブレット PC の画面をペン先で軽く 2 回続けて素早くタップします。	マウスでのダブルクリックと同じです。

外観	動作	機能
	画面にペンを触れ、Windows がカーソルの周りに完全な円を描くまでペンを動かしません。	マウスでの右クリックと同じです。

ペンとしてのペンの使用方法

手書き認識ソフトウェアにより、アプリケーションにテキストをペンで簡単に入力することができます。Windows Journal などのアプリケーションでは、アプリケーションウィンドウにペンで直接書き込むことができます。

タブレット PC 入力パネル

ペン入力を直接サポートしていないアプリケーションの場合、**Tablet PC Input Panel**（タブレット PC 入力パネル）を使用すれば、アプリケーションにテキストを入力することができます。編集可能な領域をタップすると、タブレット PC 入力パネルのアイコンが表示されます。このアイコンをタップすると、ディスプレイの端から入力パネルがスライドして出てきます。

Input Panel（入力パネル）タブを画面の端に沿って上下にドラッグすれば、そのタブを移動することができます。続いてそのタブをタップすると、タブがあった画面上の同じ水平位置に入力パネルが開きます。

ファイルの操作方法

一覧から複数の項目を選択することで、複数のファイルまたは複数のフォルダーを一度に開くこと、削除すること、または移動することができます。各項目にタブレットペンを重ねると、その項目の左側にあるチェックボックスがオンになります。

チェックボックスをオンにするには、

1. **コントロールパネル**を開きます。
2. **Folder options**（フォルダーオプション）に移動します。
3. **View**（表示）をクリックします。
4. **Advanced settings**（詳細設定）で **Use check boxes to select items**（チェックボックスを使用して項目を選択する）チェックボックスをオンにして、**OK** をクリックします。

テキストの入力方法

テキスト入力には、手書き認識またはタッチキーボードが使用できます。

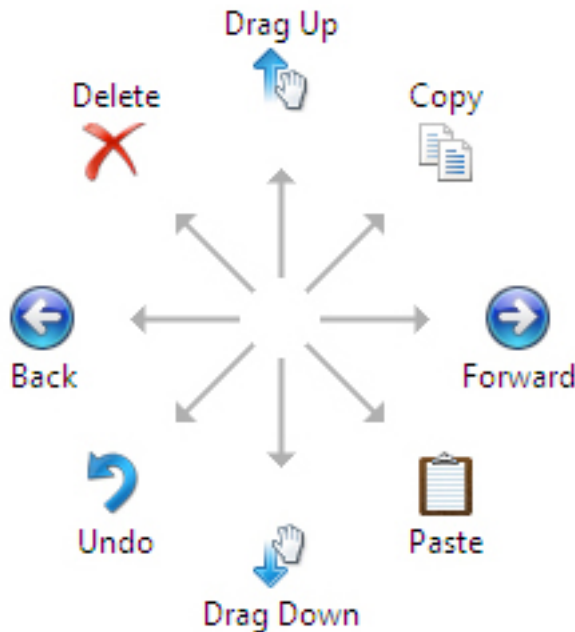
表 3. 入力パネルアイコン

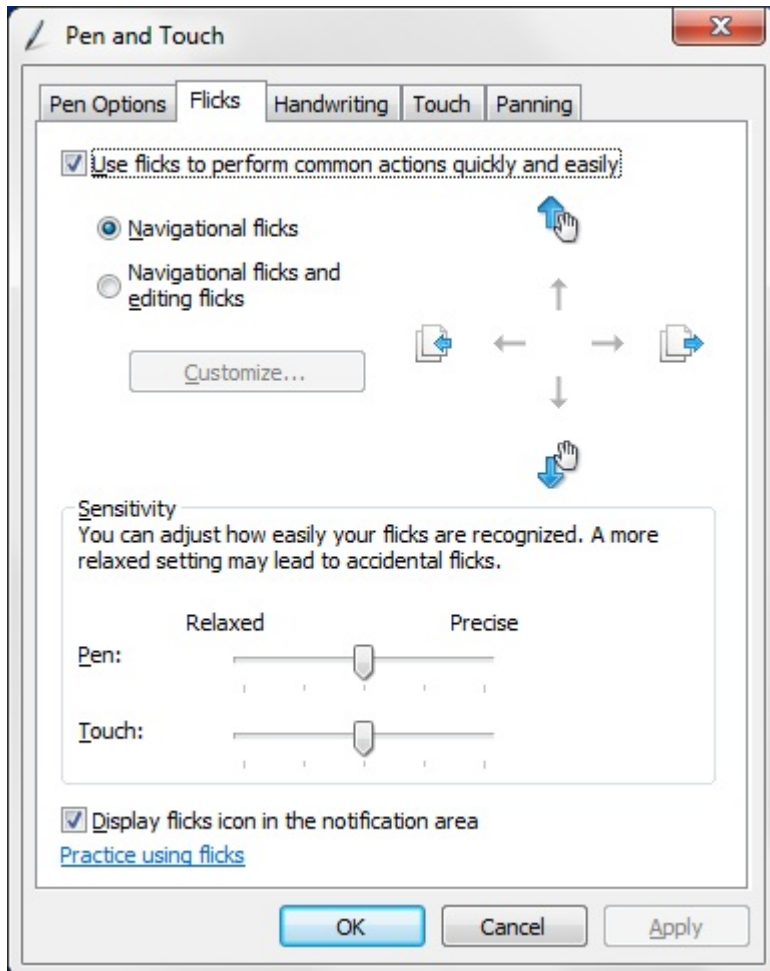
アイコン	名称	機能
	手書き認識	手書きパッドと文字パッドでは、手書き文字を入力テキストに変換します。罫紙に文字を書くように、手書きパッドには文字を連続して書くことができます。文字を一つずつ入力するには、文字パッドを使用します。文字パッドは、手書きの文字、数字、または記号を一つずつ入力テキストに変換しますが、単語のコンテキストは考慮せず、手書き辞書は活用しません。入力パネルで文字パッドに切り替えるには、**Tools**（ツール）をタップし、続いて **Write character by character**（一文字ずつ書き込む）を選択します。
	タッチキーボード	タッチキーボードは、タブレットペンや指でキーをタップすることでテキストを入力する以外は、標準的なキーボードとほとんど同じです。

手書きパッドと文字パッドにはテンキー、記号パッド、および Web クイックキーがあり、これらの種類のテキストを素早く正確に入力するのに役立ちます。これらのクイックキーは書き始めると非表示になりますが、書いた文字を挿入または削除すると表示されます。

デフォルトでは、パスワードを入力するボックスに挿入ポイントを置くと、入力パネルは自動的にタッチキーボードに切り替わります。

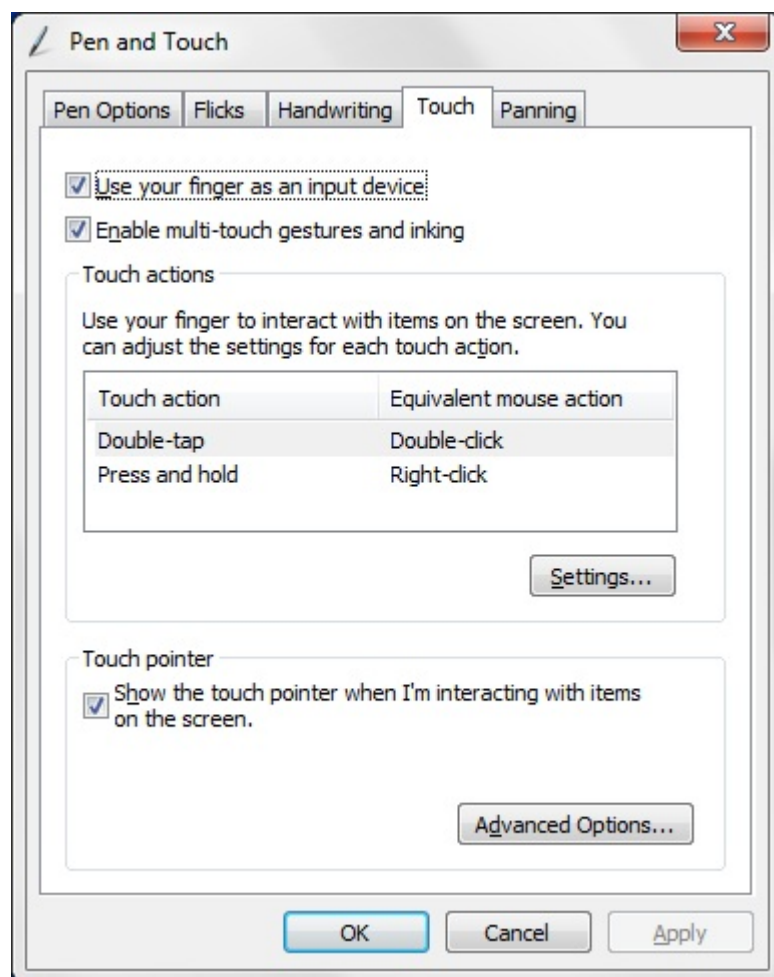
ペンフリック

ペンフリックにより、<Page Up> キーを押すか方向矢印キーを使うなど、通常ではキーボードを必要とする操作がペンを使って行うことができます。ペンフリックとは、素早く方向を示すジェスチャーです。8 つのうちひとつの方向に少しだけ素早く線を引きます。ペンフリックが認識されると、タブレット PC がそれに割り当てられている動作を実行します。

次に示す画像は、ペンフリックのデフォルト設定です。

スタート → コントロールパネル → Pen and Touch（ペンとタッチ）の順に移動して、**Flicks**（フリック）タブをクリックすれば、これらをカスタマイズすることができます。

タッチの使用方法

タブレット PC の重要な利点のひとつに、ペン入力からタッチ入力に簡単に切り替えられる機能があります。

Touch Mode（タッチモード）では、タッチポインターと呼ばれるコンピューターマウスの半透明な画像が指の下に表示されます。タッチポインターには左と右のマウスボタンがあり、指でタップすることができます。ボタンの下の領域は、タッチポインターをドラッグするために使用します。

タッチポインターを表示するには、**スタート** → **コントロールパネル** → **Pen and Touch**（ペンとタッチ）の順に移動し、**Touch**（タッチ）タブをクリックします。続いて、**Touch Pointer**（タッチポインター）セクションで、オプションである **Show the touch pointer when I'm interacting with items on the screen.**（画面上の項目を操作しているときにタッチポインターを表示する）をオンにします。

ドッキングステーション

Latitude ST 用に設計されたドッキングステーションは、**dell.com** から別途購入することができます。詳細については、**support.dell.com** で入手可能なドッキングステーションの設定ガイドを参照してください。

図 1. ドッキングステーション正面図

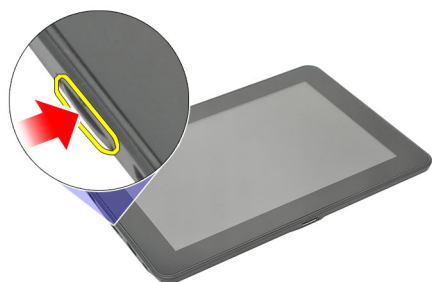
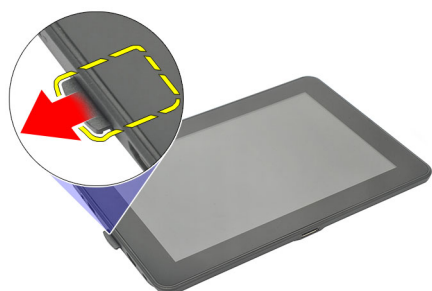
1. ドックコネクター
2. 電源 LED

図 2. ドッキングステーション背面図

1. AC アダプターコネクター
2. USB 2.0 コネクター（1）
3. USB 2.0 コネクター（2）
4. ネットワークコネクター（RJ45）
5. HDMI コネクター
6. オーディオコネクター

3

SD メモリカードの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. SD メモリカードを押して、コンピューターから取り出します。

3. SD メモリカードをコンピューターから引き出します。

SD メモリカードの取り付け

1. カチッと所定の位置に収まるまで、メモリカードをコンパートメントに押し込みます。
2. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

4

デジタイザーペンの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. デジタイザーペンを押して、コンピューターから取り出します。

3. デジタイザーペンをコンピューターから引き出します。

デジタイザーペンの取り付け

1. カチッと所定の位置に収まるまで、デジタイザーペンをコンパートメントに押し込みます。
2. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

5

ラベルドアの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. ラベルドアを固定しているリリースラッチを押します。

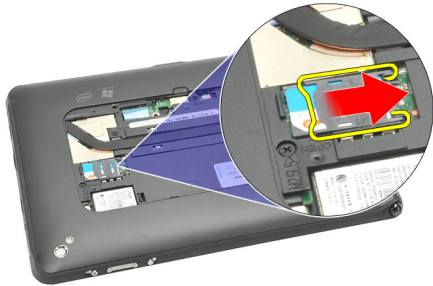
3. ラベルドアを斜めに持ち上げて、コンピューターから取り外します。

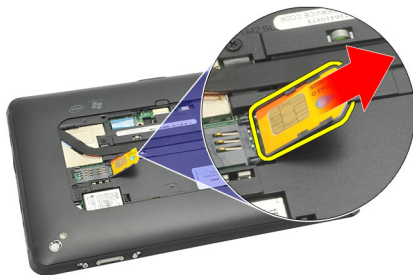
ラベルドアの取り付け

1. ラベルドアを斜めに置き、端にある固定クリップの位置に合わせます。
2. カチッと所定の位置に収まるまで、ラベルドアの端を押します。
3. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

6

SIM カードの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. ラベルドアを取り外します。
3. SIM カードホルダーをスライドさせて、SIM カードスロットのロックを解除します。

4. SIM カードホルダーを裏返して、上向きにします。

5. SIM カードホルダーから SIM カードを引き出し、コンピューターから取り外します。

メモ: SIM カードをコンピューターから取り外した後に、SIM カードホルダーを閉じます。

SIM カードの取り付け

1. カチッと所定の位置に収まるまで、SIM カードを SIM カードスロットに押し込みます。
2. ラベルドアを取り付けます。
3. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

7 底部カバーの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. ラベルドアを取り外します。

メモ: コンピューターへの損傷を防ぐために、スタイラスペンとダミーの SD カードを取り外します。

3. 底部カバーをコンピューターに固定しているネジを外します。

4. ラッチを押して、底部カバーの上部を取り出します。

5. 図の矢印で示す順に、底部カバーを固定しているタブを引き出します。

6. 底部カバーをコンピューターから取り外します。

底部カバーの取り付け

1. 底部カバーをコンピューターに装着します。
2. 完全に固定されるまで、底部カバーの端を固定クリップに押し込みます。
3. 底部カバーを固定するネジを締めます。
4. ラベルドアを取り付けます。
5. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

8

バッテリーの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. ラベルドアを取り外します。
3. 底部カバーを取り外します。
4. バッテリーケーブルを外します。

5. バッテリーをコンピューターに固定しているネジを外します。

6. バッテリーを持ち上げて、コンピューターから取り外します。

バッテリーの取り付け

1. バッテリーをバッテリーコンパートメントに置きます。
2. バッテリーを固定するネジを締めます。
3. バッテリーケーブルを接続します。
4. 底部カバーを取り付けます。
5. ラベルドアを取り付けます。
6. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

9

WLAN（ワイヤレスローカルエリアネットワーク）カードの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. ラベルドアを取り外します。
3. 底部カバーを取り外します。
4. バッテリーを取り外します。
5. WLAN カードに接続されているアンテナを外します。

6. WLAN カードを固定しているネジを外します。

7. WLAN カードをコンピューターから取り外します。

WLAN（ワイヤレスローカルエリアネットワーク）カードの取り付け

1. WLAN カードをスロットに差し込みます。
2. WLAN カードを所定の位置に固定するネジを締めます。
3. WLAN カードのカラーコードに従ってアンテナを接続します。
4. バッテリーを取り付けます。
5. 底部カバーを取り付けます。
6. ラベルドアを取り付けます。
7. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。
8. 出荷された Latitude ST ユニットに LAN ドライバーが付属していない場合、そのドライバーを手動でインストールすると WLAN を作動させるよう指示されます。WLAN カードを正常に取り付けるには、次の手順を実行する必要があります。
   a) USB キーボードをコンピューターに接続し、コンピューターを再起動します。
   b) Dell のロゴで <F2> キーを押してセットアップユーティリティを起動します。
   c) <F9> を選択してデフォルトを読み込みます。
   d) <F10> を選択して設定を保存し、終了します。

      Windows が始動した後に WLAN は自動的に接続されます。

10

WWAN（ワイヤレスワイドエリアネットワーク）カードの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. ラベルドアを取り外します。
3. 底部カバーを取り外します。
4. バッテリーを取り外します。
5. WWAN カードに接続されているアンテナを外します。

6. WWAN カードを固定しているネジを外します。

7. WWAN カードをコンピューターから取り外します。

WWAN（ワイヤレスワイドエリアネットワーク）カードの取り付け

1. WWAN（ワイヤレスワイドエリアネットワーク）カードをスロットに差し込みます。
2. WWAN カードを所定の位置に固定するネジを締めます。
3. WWAN カードのカラーコードに従ってアンテナを接続します。
4. バッテリーを取り付けます。
5. 底部カバーを取り付けます。
6. ラベルドアを取り付けます。
7. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

11

内蔵ストレージデバイス（ソリッドステートドライブ）の取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. ラベルドアを取り外します。
3. 底部カバーを取り外します。
4. バッテリーケーブルを外します。
5. ソリッドステートドライブをコンピューターに固定しているネジを外します。

6. ソリッドステートドライブを斜めに持ち上げて、コンピューターから取り外します。

内蔵ストレージデバイス（ソリッドステートドライブ）の取り付け

1. 内蔵ストレージデバイス（ソリッドステートドライブ）をスロットに差し込みます。
2. 内蔵ストレージデバイスの接続を固定するネジを締めます。
3. バッテリーケーブルを接続します。
4. 底部カバーを取り付けます。
5. ラベルドアを取り付けます。
6. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

12

コイン型バッテリーの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. ラベルドアを取り外します。
3. 底部カバーを取り外します。
4. バッテリーを取り外します。
5. 内蔵ストレージデバイスを取り外します。
6. コイン型バッテリーケーブルを外します。

7. コイン型バッテリーケーブルを取り出し、コイン型バッテリーをコンピューターから取り外します。

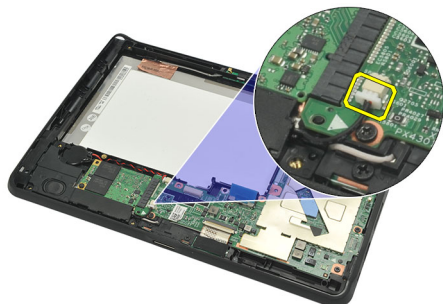
コイン型バッテリーの取り付け

1. コイン型バッテリーをコンパートメントに置き、コイン型バッテリーケーブルを配線します。
2. 内蔵ストレージデバイスの接続を固定するネジを締めます。
3. 内蔵ストレージデバイスを取り付けます。
4. バッテリーを取り付けます。
5. 底部カバーを取り付けます。
6. ラベルドアを取り付けます。
7. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

13

スピーカーの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. ラベルドアを取り外します。
3. 底部カバーを取り外します。
4. バッテリーを取り外します。
5. スピーカーをコンピューターに固定しているネジを外します。

6. スピーカーケーブルを外します。

7. スピーカーを持ち上げて、コンピューターから取り外します。

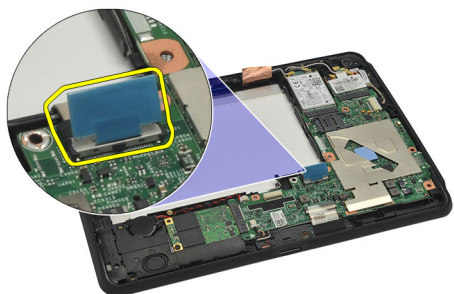
スピーカーの取り付け

1. スピーカーケーブルをシステム基板に接続します。
2. スピーカーを固定するネジを締めます。
3. バッテリーを取り付けます。
4. 底部カバーを取り付けます。
5. ラベルドアを取り付けます。
6. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

14

ミドルフレームアセンブリの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. デジタイザーペンを取り外します。
3. ラベルドアを取り外します。
4. 底部カバーを取り外します。
5. バッテリーを取り外します。
6. ミドルフレームアセンブリをコンピューターに固定しているネジを外します。

7. ディスプレイアセンブリにアンテナを固定しているテープをはがします。

8. ディスプレイケーブルを外します。

9. ミドルフレームアセンブリをディスプレイアセンブリから引き出し、コンピューターから取り外します。

ミドルフレームアセンブリの取り付け

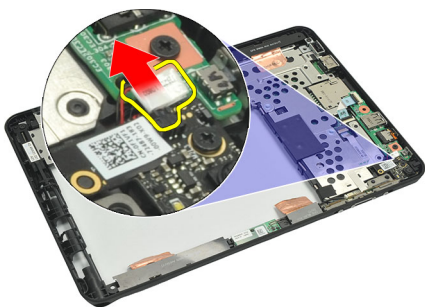
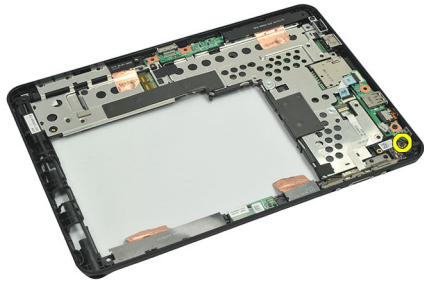
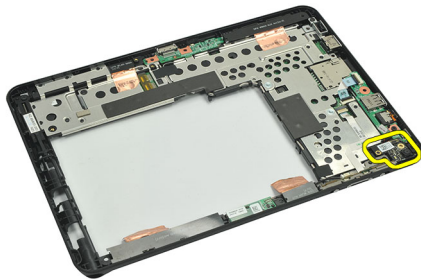
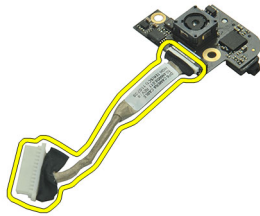
1. ミドルフレームアセンブリをコンピューターに装着します。
2. 完全に固定されるまで、ミドルフレームアセンブリの端を固定クリップに押し込みます。
3. ディスプレイケーブルを接続します。
4. ディスプレイアセンブリにアンテナを固定するテープを貼ります。
5. ミドルフレームアセンブリをコンピューターに固定するネジを締めます。
6. バッテリーを取り付けます。
7. 底部カバーを取り付けます。
8. ラベルドアを取り付けます。
9. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

15

カメラの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. デジタイザーペンを取り外します。
3. ラベルドアを取り外します。
4. 底部カバーを取り外します。
5. バッテリーを取り外します。
6. ミドルフレームアセンブリを取り外します。
7. カメラケーブルをシステム基板から外します。

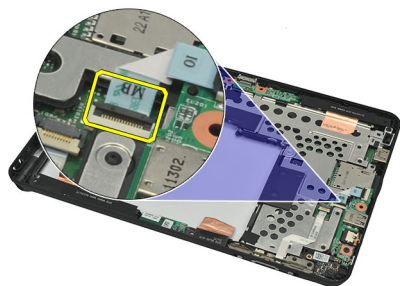
8. カメラケーブルをシステム基板に固定している接着用テープからはがします。

9. ミドルフレームアセンブリを裏返して、カメラ LED ケーブルを外します。

10. カメラボードをコンピューターに固定しているネジを外します。

11. カメラボードを持ち上げて、コンピューターから取り外します。

12. カメラボードからカメラケーブルを外します。

カメラの取り付け

1. カメラケーブルをカメラボードに接続します。
2. カメラをディスプレイアセンブリの上端部に置きます。
3. カメラを所定の位置に固定するネジを締めます。
4. ミドルフレームアセンブリを裏返して、カメラ LED ケーブルを接続します。
5. カメラケーブルをシステム基板に固定する接着用テープを貼り付けます。
6. カメラケーブルをシステム基板に接続します。
7. ミドルフレームアセンブリを取り付けます。
8. バッテリーを取り付けます。
9. 底部カバーを取り付けます。
10. ラベルドアを取り付けます。
11. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

16

入力/出力（I/O）ボードの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. デジタイザーペンを取り外します。
3. ラベルドアを取り外します。
4. 底部カバーを取り外します。
5. バッテリーを取り外します。
6. ミドルフレームアセンブリを取り外します。
7. I/O ボードケーブルをシステム基板から外します。

8. I/O ボードをコンピューターに固定しているネジを外します。

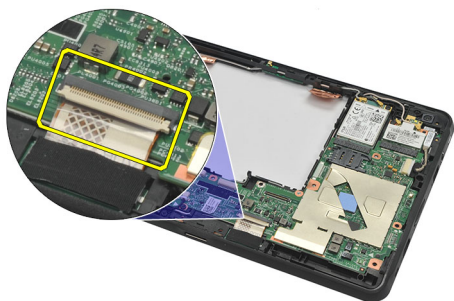
9. I/O ボードを持ち上げて、コンピューターから取り外します。

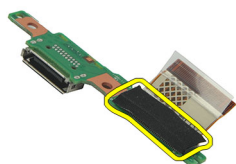
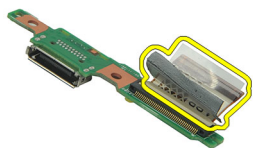
入力/出力（I/O）ボードの取り付け

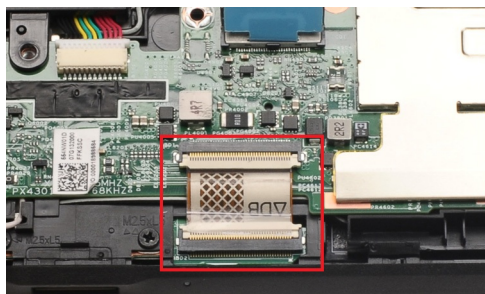
1. I/O ボードをディスプレイアセンブリの上端部に置きます。
2. I/O ボードをコンピューターに固定するネジを締めます。
3. I/O ボードケーブルをシステム基板に接続します。
4. ミドルフレームアセンブリを取り付けます。
5. バッテリーを取り付けます。
6. 底部カバーを取り付けます。
7. ラベルドアを取り付けます。
8. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

17

ドッキングボードの取り外し

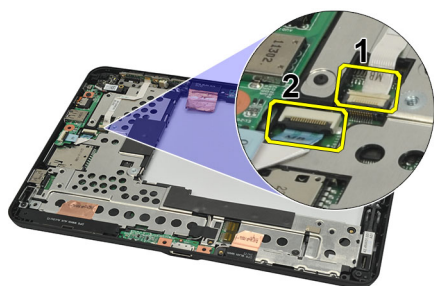
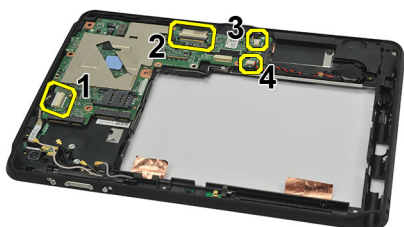
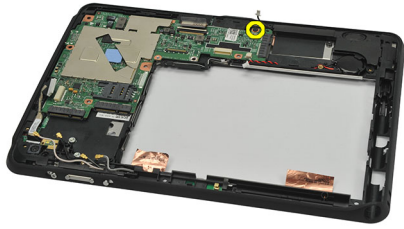
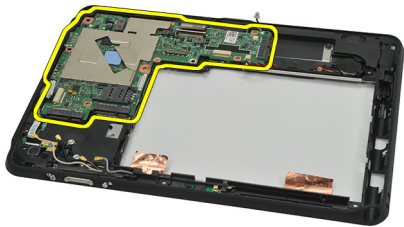
1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. デジタイザーペンを取り外します。
3. ラベルドアを取り外します。
4. 底部カバーを取り外します。
5. バッテリーを取り外します。
6. ミドルフレームアセンブリを取り外します。
7. ドッキングボードケーブルをシステム基板から外します。

8. ミドルフレームアセンブリを裏返します。ドッキングボードを持ち上げて、コンピューターから取り外します。

9. ドッキングボードを固定しているテープをはがします。

10. 固定クリップを持ち上げて、ドッキングボードからドッキングボードケーブルを外します。

ドッキングボードの取り付け

1. ドッキングボードにドッキングボードケーブルを接続し、固定クリップを押し下げます。
2. ドッキングケーブルが上向きで接続されており、「DB」のラベルと矢印がシステム基板コネクターから外側の方向を指していることを確認します。方向を間違えると、ドッキングボードが誤動作する原因となる可能性があります。

3. ドッキングボードにケーブルコネクターを固定する黒色のテープを貼り付けます。
4. ミドルフレームアセンブリを裏返して、ドッキングボードケーブルをシステム基板に接続します。
5. ミドルフレームアセンブリを取り付けます。
6. バッテリーを取り付けます。
7. 底部カバーを取り付けます。
8. ラベルドアを取り付けます。
9. デジタイザーペンを取り付けます。
10. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

18

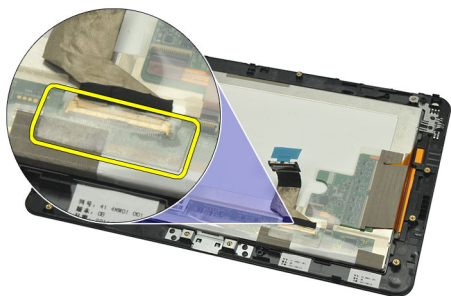
システム基板の取り外し

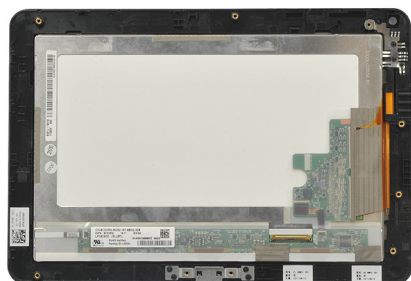
1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. デジタイザーペンを取り外します。
3. SD メモリカードを取り外します。
4. ラベルドアを取り外します。
5. 電話 SIM を取り外します。
6. 底部カバーを取り外します。
7. バッテリーを取り外します。
8. WLAN カードを取り外します。
9. WWAN カードを取り外します。
10. 内蔵ストレージデバイスを取り外します。
11. ミドルフレームアセンブリを取り外します。
12. 固定クリップを持ち上げて、電源ボタンボードケーブル（1）と I/O ボードケーブル（2）を外します。

13. ミドルフレームアセンブリを裏返して、システム基板からカメラケーブル（1）、ドッキングボードケーブル（2）、スピーカーケーブル（3）、コイン型バッテリーケーブル（4）を外します。

14. システム基板をミドルフレームアセンブリに固定しているネジを外します。

15. システム基板を持ち上げて、コンピューターから取り外します。

システム基板の取り付け

1. システム基板をミドルフレームアセンブリに固定するネジを締めます。
2. ミドルフレームアセンブリを裏返して、システム基板にカメラケーブル、ドッキングボードケーブル、スピーカーケーブル、コイン型バッテリーケーブルを接続します。
3. 電源ボタンボードケーブルと I/O ボードケーブルを接続して、これらの固定クリップを押し下げます。
4. ミドルフレームアセンブリを取り付けます。
5. 内蔵ストレージデバイスを取り付けます。
6. WWAN カードを取り付けます。
7. WLAN カードを取り付けます。
8. バッテリーを取り付けます。
9. 底部カバーを取り付けます。
10. 電話 SIM カードを取り付けます。
11. ラベルドアを取り付けます。
12. SD メモリカードを取り付けます。
13. デジタイザーペンを取り付けます。
14. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

19

LVDS（低電圧差動信号）ケーブルの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. デジタイザーペンを取り外します。
3. ラベルドアを取り外します。
4. 底部カバーを取り外します。
5. バッテリーを取り外します。
6. ミドルフレームアセンブリを取り外します。
7. ディスプレイケーブルを固定しているテープをはがします。

8. ディスプレイケーブルを外します。

次に示す図は、上記の順序でコンピューターからすべてのコンポーネントを取り外した後のディスプレイパネルアセンブリです。

LVDS（低電圧差動信号）ケーブルの取り付け

1. ディスプレイケーブルをディスプレイパネルアセンブリに接続します。
2. ディスプレイケーブルを固定するテープを貼ります。
3. ミドルフレームアセンブリを取り付けます。
4. バッテリーを取り付けます。
5. 底部カバーを取り付けます。
6. ラベルドアを取り付けます。
7. デジタイザーペンを取り付けます。
8. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

20

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティの概要

セットアップユーティリティでは次のことが可能です。

- コンピューターのハードウェアを追加、変更、または取り外した後でのシステム設定情報の変更。
- ユーザーパスワードなどユーザー選択が可能なオプションの設定または変更。
- 現在のメモリ容量の確認、または取り付けられたハードドライブの種類の設定。
- バッテリー状態の確認。

セットアップユーティリティを使用する前に、セットアップユーティリティの画面情報を後で参照できるようにメモしておくことをお勧めします。

注意: コンピューターの専門家でない限り、このプログラムの設定は変更しないでください。変更内容によっては、コンピューターが正しく動作しなくなる場合があります。

セットアップユーティリティの起動

メモ: セットアップユーティリティを起動する前に、コンピューターの左側にある USB ポートに USB キーボードを接続してください。コンピューターがドッキングされている場合、USB ポートはドッキングステーションの背面にあります。

1. コンピューターの電源を入れます（または再起動します）。
2. 青色の DELL のロゴが表示されたら、F2 プロンプトが表示されるまで待機してください。
3. F2 プロンプトが表示されたら、すぐに <F2> キーを押します。

メモ: F2 プロンプトはキーボードが初期化されたことを示します。このプロンプトはすぐに消えるので、表示されるのを注意して待ち、続けて <F2> キーを押してください。プロンプトが表示される前に <F2> キーを押した場合、キーストロークは無視されます。

4. キーを押すタイミングが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows のデスクトップが表示されるまでそのまま待機し、コンピューターをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

セットアップユーティリティの移動操作

Menu（メニュー）	セットアップユーティリティウィンドウの最上部に表示されます。このフィールドには、セットアップユーティリティのオプションにアクセスするためのメニューがあります。移動するには < 左矢印 > キーと < 右矢印 > キーを押します。ある **Menu**（メニュー）オプションを強調表示にすると、コンピューターに取り付けられたハードウェアを定義するオプションが **Options List**（オプションリスト）に一覧表示されます。
Options Field（オプショ	**Options List**（オプションリスト）の右側に表示されます。**Options List**（オプションリスト）に一覧表示された各オプションに関する情報を表示します。このフィールドでは、コンピューターに関する情報を表示すること、および現在の設定を変更することができます。現在の設

ンフィールド）	定を変更するには < Enter > キーを押し、**Options List**（オプションリスト）に戻るには < ESC > キーを押します。 メモ: Options Field（オプションフィールド）に表示されている設定には、変更できないものもあります。
Help（ヘルプ）	セットアップユーティリティウィンドウの右側に表示されます。**Options List**（オプションリスト）で選択したオプションに関するヘルプ情報を表示します。

セットアップユーティリティの画面内を移動するには次のキーを使用します。

キーストローク	動作
< F2 >	セットアップユーティリティ内で選択したアイテムに関する情報を表示します。
< Esc >	現在のビューを終了するか、またはセットアップユーティリティの **Exit**（終了）ページに移動します。
< 上矢印 > または < 下矢印 >	表示するアイテムを選択します。
< 左矢印 > または < 右矢印 >	表示するメニューを選択します。
– または +	既存のアイテムの値を変更します。
< Enter >	サブメニューを選択するか、またはコマンドを実行します。
< F9 >	セットアップデフォルトを読み込みます。
< F10 >	現在の設定を保存して、セットアップユーティリティを終了します。

起動メニュー

Dell のロゴが表示されたら、<F12> キーを押して、システムの有効な起動デバイスの一覧を表示した一時的な起動メニューを開始します。このメニューには、**Hard Drive**（ハードドライブ）、**Network**（ネットワーク）、**Diagnostics**（診断）、および **Enter Setup**（セットアップユーティリティの起動）のオプションがあります。システムで起動可能なデバイスが起動メニューに一覧表示されます。このメニューが役に立つのは、ある特定のデバイスを起動する場合やシステムの診断を行う場合です。起動メニューを使用しても、BIOS に保存されている起動順序は一切変更されません。

セットアップユーティリティのオプション

Main（メイン）

Main（メイン）タブには、コンピューターの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。各オプションの機能を次の表で説明します。

表 4. Main（メイン）タブ

オプション	機能
System Time（システム時刻）	コンピューターの内蔵クロックの時刻を再設定します。
System Date（システム日付）	コンピューターの内蔵カレンダーの日付を再設定します。

オプション		機能
BIOS Version（BIOS バージョン）		BIOS のリビジョンが表示されます。
Service Tag（サービスタグ）		お使いのコンピュータのサービスタグが表示されます。
Asset Tag		お使いのコンピュータの Asset Tag が表示されます。
CPU Type（CPU タイプ）		プロセッサのタイプが表示されます。
CPU Speed（CPU スピード）		プロセッサーの速度を表示します。
CPU ID		プロセッサ ID が表示されます。
CPU Cache（CPU キャッシュ）		プロセッサーのキャッシュサイズについての情報を表示します。
	L1 Cache size（L1 キャッシュサイズ）	プロセッサの L1 キャッシュサイズが表示されます。
	L2 Cache Size（L2 キャッシュサイズ）	プロセッサの L2 キャッシュサイズが表示されます。
Fixed HDD（固定 HDD）		ハードドライブのモデル番号と容量が表示されます。
システムメモリ		コンピューターに内蔵されているメモリを表示します。
Extended Memory（拡張メモリ）		コンピューターに取り付けられているメモリを表示します。
Memory Speed（メモリ速度）		メモリの速度が表示されます。

詳細

Advanced（詳細）タブでは、コンピューターのパフォーマンスに影響を及ぼすさまざまな機能が設定できます。各オプションの機能とそのデフォルト値を次の表で説明します。

表 5. Advanced（詳細）タブ

オプション	機能	
Intel SpeedStep	Intel SpeedStep 機能の有効 / 無効を切り替えます。	デフォルト：Enabled（有効）
Virtualization（仮想化）	Intel Virtualization 機能の有効 / 無効を切り替えます。	デフォルト：Enabled（有効）
Wake on LAN（LAN でのウェイク）	LAN がシステムを待機状態からウェイクさせる機能を有効にすることができます。	デフォルト：Enabled（有効）
USB Emulation（USB エミュレーション）	USB エミュレーション機能を有効または無効にします。	デフォルト：Enabled（有効）
USB Wake Support（USB ウェイクサポート）	USB デバイスにより、コンピューターを待機状態からウェイクアップさせることができます。この機能は、AC アダプターが接続されている場合のみ有効です。	デフォルト：Disabled（無効）

オプション	機能	
Adapter Warnings（アダプター警告）	アダプター警告を有効または無効にします。	デフォルト：Enabled（有効）
Charger Behavior（充電器動作）	AC 電源に接続したときに、コンピューターのバッテリーを充電するかどうかを指定します。	デフォルト：Disabled（無効）
Express Charge（高速充電）	Dell の高速充電テクノロジーです。	デフォルト：Enabled（有効）
Battery Health（バッテリー状態）	現在のバッテリー状態を表示します。	
Miscellaneous Devices（各種デバイス）	このフィールドでは、ボード上の各ドライブを有効または無効にします。	

セキュリティ

Security（セキュリティ）タブにはセキュリティの状態が表示され、コンピュータのセキュリティ機能を管理することができます。

表 6. Security（セキュリティ）タブ

Computrace	コンピューターの Computrace 機能を有効または無効にします。
TPM support（TPM サポート）	TPM サポートを有効または無効にします。

Boot（起動）

起動順序の変更ができます。

Exit（終了）

セットアップユーティリティを終了する前に、デフォルト設定を保存、破棄、または読み込むことができます。

21

トラブルシューティング

ePSA（強化された起動前システムアセスメント）

ePSA はコンピューター付属の診断ユーティリティです。このユーティリティには、コンピューターのハードウェア用のテストがいくつか含まれています。コンピューターにメディア（ハードドライブ、CD ドライブなど）がまったくない場合でも、これらのテストを実行することができます。あるコンポーネントが ePSA テストに失敗した場合、システムはエラーコードを表示し、ビープコードを生成します。

機能

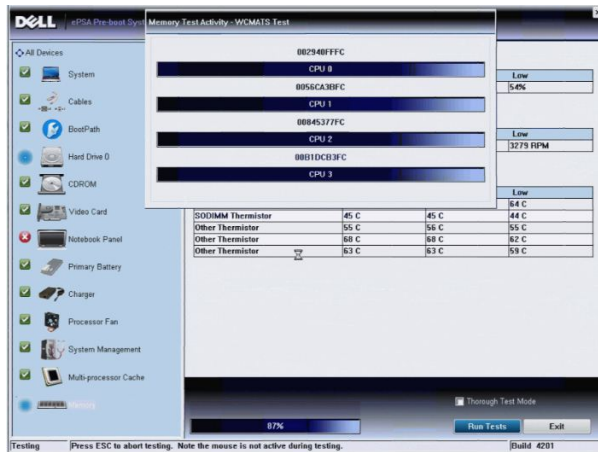
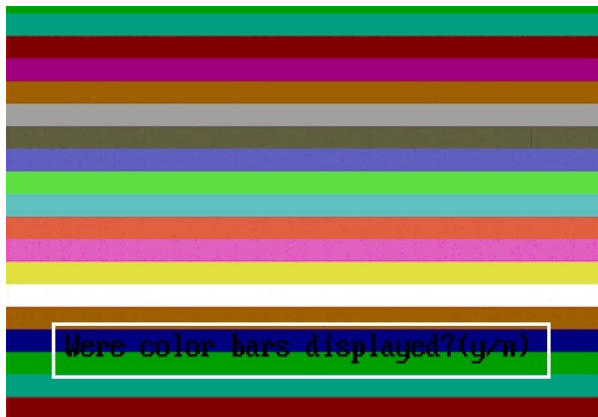
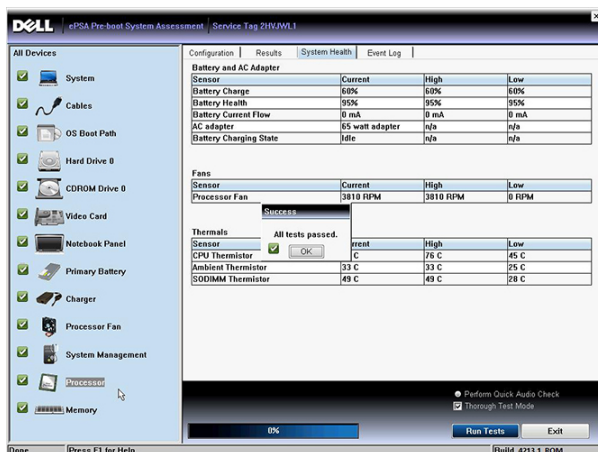
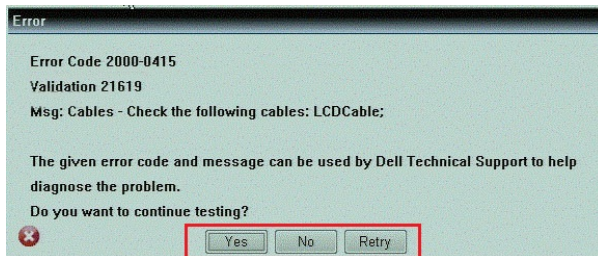
- グラフィカルユーザーインタフェース
- 自動デフォルト動作 - すべてのデバイスでテストを実行、ユーザーは中断させることおよびデバイスを選択することが可能
- 全 OS 環境での起動に備えたマスター起動レコードの確認
- ノートブックパネルのテスト
- ビデオメモリのテスト
- バッテリーのテスト
- 充電器のテスト
- ファンのテスト
- イベントログのスキャン
- マルチプロセッサーキャッシュのテスト
- 設定 - ケーブル接続、Bluetooth、WLAN、および WWAN デバイスのインストール状態の表示
- システム状態 - ファン、バッテリー、サーマル、および接続性インジケーターの表示

ePSA 診断ユーティリティの実行

メモ: 次の手順により、外付けキーボードを使用せずに DOS モードで ePSA 診断ユーティリティを実行することができます。

ペンはデフォルトの調整状態で使用することも、または各ユーザーがそれぞれに調整した状態で使用することもできます。使用するユーザーごとにペンを調整することをお勧めします。調整を行うことで、ペンの使い勝手をユーザーごとに最適な状態にすることができます。

1. システムの電源を入れた直後に、電源ボタンとセキュリティ（Ctrl-Alt-Del）ボタンを 1 秒間同時に押します。

2. コンピューターは始動し、ePSA ユーティリティを自動的に実行し始めます。

3. テストプロセスの間、ある質問に対して YES か NO で回答するように指示があります。YES を回答するには音量上げボタンを、NO を回答するには音量下げボタンを押します。

4. テストが終了したら、セキュリティ（Ctrl-Alt-Del）ボタンを押し、OK をクリックします。

5. オプションを切り替える場合、音量上げボタンと音量下げボタンをタブキーとして使用することもできます。

ビープコード

ディスプレイがエラーや問題点を表示できない場合、コンピューターは起動中に連続したビープ音を発することがあります。ビープコードと呼ばれる連続したビープ音により、さまざまな問題を特定することができます。各ビープ音間のディレイは 300 ms、ビープ音の各セット間のディレイは 3 秒であり、ビープ音は 300 ms 続きます。各ビープ音とビープ音の各セットの後、BIOS が電源ボタンが押されたかどうかを検出します。BIOS はループからジャンプして、通常のシャットダウンプロセスとシステムの電源投入を実行します。

コード	原因とトラブルシューティングの手順
1	BIOS ROM チェックサムが実行中、またはエラー発生 システム基板の障害です。BIOS の破損または ROM エラーを修復します
2	RAM が検出されない メモリが検出されませんでした
3	チップセットエラー（North と South Bridge チップセット、DMA/IMR、タイマーエラー）、時刻クロックテストの失敗、Gate A20 の障害、Super I/O チップの障害、キーボードコントローラーテストの失敗 システム基板の障害です
4	RAM 読み取り/書き込み障害 メモリの障害です
5	リアルタイムクロックの電源障害 CMOS バッテリーの障害です
6	ビデオ BIOS テストの失敗 ビデオカードの障害です
7	CPU キャッシュテストの失敗 プロセッサーの障害です
8	ディスプレイ ディスプレイの障害です

LED エラーコード

診断 LED コードを伝える手段は電源ボタン LED です。電源ボタン LED は、障害状態に対応させた LED コードに合わせて点滅します。たとえば、メモリが検知されない（LED コード 2）場合、電源ボタン LED は 2 回点滅した後に間を置く動作を繰り返します。このパターンはシステムの電源がオフになるまで続きます。

コード	原因とトラブルシューティングの手順
1	システム基盤：BIOS ROM 障害

コード	原因とトラブルシューティングの手順
	システム基板の障害です。BIOS の破損または ROM エラーを修復します
2	メモリ メモリ/RAM が検出されませんでした
3	チップセットエラー（North と South Bridge チップセット、DMA/IMR、タイマーエラー）、時刻クロックテストの失敗、Gate A20 の障害、Super I/O チップの障害、キーボードコントローラーテストの失敗 システム基板の障害です
4	RAM 読み取り/書き込み障害 メモリの障害です
5	リアルタイムクロックの電源障害 CMOS バッテリーの障害です
6	ビデオ BIOS テストの失敗 ビデオカードの障害です
7	CPU キャッシュテストの失敗 プロセッサーの障害です
8	ディスプレイ ディスプレイの障害です

N-trig デジタイザーのトラブルシューティング

デジタイザーの設定を調整するには、N-trig Tablet Settings（N-trig タブレット設定）アプレットを使用します。N-trig ドライバーが読み込まれると、システムトレイにアイコンが表示されます。

次のセクションでは、インストールとパフォーマンスについての問題を解決するトラブルシューティングの手順を紹介します。

インストールについての問題

エラーメッセージ："Hardware is not adequate for running this software"（このソフトウェアを実行するにはハードウェアに問題があります）

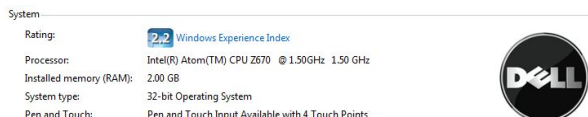
トラブルシューティングの手順：

1. 実行しようとしているバンドルが、OS（Win7）に適切に対応していることを確認します。
2. 実行しようとしているバンドルが、タイプ（32 ビット、64 ビット）に適切に対応していることを確認します。

パフォーマンスについての問題

マルチタッチ機能がない：N-trig ソフトウェアバンドルがインストールされていない

トラブルシューティングの手順：

1. N-trig ソフトウェアバンドルがインストールされていることを確認します。 **コントロールパネル → N-trig DuoSense Digitizer Settings（N-trig Duo Sense デジタイザー設定）**の順に開きます。バンドルがインストールされていない場合、オペレーティングシステムに適切なバンドルをインストールします。
2. システム情報を確認して、検出されたタッチポイントの数を表示します。
   - **スタート**をクリックします。
   - **コンピューター**を右クリックし、メニューから**プロパティ**を選択します。
   - 情報ウィンドウにタッチポイントの数が表示されます。

パフォーマンスについての問題

マルチタッチ機能がない：N-trig ソフトウェアバンドルがインストールされている

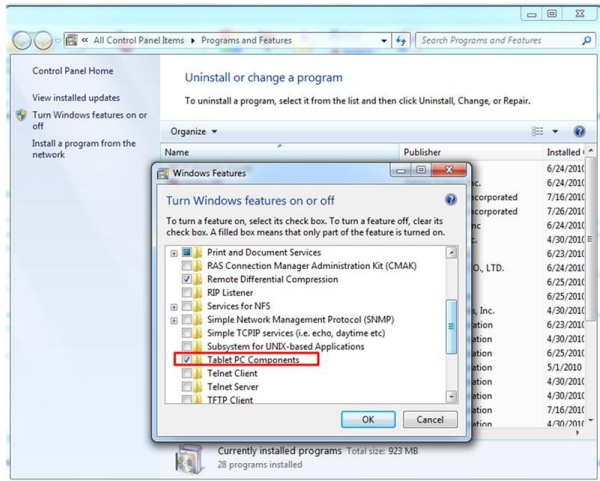
トラブルシューティングの手順：

- デバイスマネージャーを開き、Digitizer（デジタイザー）がコンピューターに認識されていることを確認します。

- デバイスが認識されている場合、N-trig バンドルをアンインストールし、もう一度インストールします。
- デバイスが認識されていない場合、**Unknown Devices**（不明なデバイス）でそのデバイスを確認し、不明なデバイスのドライバーをアップデートする必要があります。

Windows 7 では、N-trig ソフトウェアバンドルを正常にインストールした後、（Windows 機能での）Tablet PC コンポーネントチェックボックスが選択されていることを確認します。

これを確認するには、**コントロールパネル → プログラムと機能** の順に移動します。次の画像で示すように、**プログラムと機能**ウィンドウで、左側のサイドバーにある **Windows の機能の有効化または無効化**リンクをクリックします。

22

技術仕様

メモ: 提供される内容は地域によって異なります。次の仕様には、コンピューターの出荷に際し、法により提示が定められている項目のみを記載しています。お使いのコンピューターの設定については、**スタート → ヘルプとサポート** をクリックして、お使いのコンピューターに関する情報を表示するオプションを選択してください。

システム情報	
チップセット	Intel SM35 Express チップセット
DRAM バス幅	32 ビット
フラッシュ EPROM	SPI 16M ビット

プロセッサー	
タイプ	Intel Atom Z670
外付けバスの周波数	800 MHz

メモリ	
メモリ容量	2 GB
メモリのタイプ	800 MHz DDR2

オーディオ	
タイプ	ベーシックオーディオグレード
コントローラー	IDT 92HD87
ステレオ変換	24 ビット（デジタル変換、アナログ変換）
インタフェース：	
内蔵	ハイデフィニッションオーディオ
外付け	マイク入力/ステレオヘッドフォン/外付けスピーカーコネクター
スピーカー	（1）
内蔵スピーカーアンプ	2 W（標準）/チャネル
ボリュームコントロール	ロッカー

ビデオ	
ビデオのタイプ	システム基板内蔵
データバス	内蔵ビデオ

ビデオ	
ビデオコントローラー	Intel HD グラフィックス 600
ビデオメモリ	766 MB

通信	
ネットワークアダプター	ドッキングステーション経由での RJ-45 コネクター（1）
ワイヤレス	• ワイヤレスオン/オフ機能 • WWAN および GNSS（全地球的航法衛星システム） • Wi-Fi

ポートおよびコネクター	
オーディオ	マイクコネクター/ステレオヘッドフォン/スピーカーコネクター（1）
ビデオ	19 ピン HDMI コネクター（1）
USB	4 ピン USB 2.0 対応コネクター（1）
メモリカードリーダー	3-in-1 メモリカードリーダー（1）

ディスプレイ	
タイプ	WXGA IPS LED
サイズ	10.1 インチハイデフィニッション（HD）
寸法：	
高さ	135.60 mm
幅	216.96 mm
対角線	255.85 mm
有効領域（X/Y）	216.96 mm / 135.60 mm
最大解像度	1280 x 800 ピクセル
最大輝度	340 nits
リフレッシュレート	60 Hz
最小視角：	
水平方向	+/- 80°
垂直方向	+/- 80°
ピクセルピッチ	0.1695 mm x 0.1695 mm

バッテリー	
タイプ（30WHr）	4–セルリチウムイオン
寸法	

バッテリー	
長さ	165.50 mm
高さ	5.90 mm
幅	114.10 mm
重量	200.00 g
電圧	7.4 VDC
温度範囲	
動作時	0°C ～ 60°C
非動作時	–20°C ～ 60°C
コイン型バッテリー	3 V CR2032 リチウムイオン

AC アダプター	
タイプ	30 W
入力電圧	100 VAC ～ 240 VAC
入力電流（最大）	1.0 A
入力周波数	50 Hz ～ 60 Hz
出力電力	30 W
出力電流（30 W）	1.58 A
定格出力電圧	19 +/– 1.0 VDC
温度範囲：	
動作時	0°C ～ 40°C
非動作時	–20°C ～ 85°C

外形寸法	
高さ	15 mm
幅	270 mm
奥行き	186 mm
重量（最小）	816 g

環境	
温度：	
動作時	0°C ～ 35°C
保管時	–40°C ～ 65°C
相対湿度（最大）：	
動作時	10 % ～ 90 %（結露しないこと）

環境	
保管時	5 % ～ 95 %（結露しないこと）
高度（最大）：	
動作時	–15.20 m ～ 3048 m
非動作時	–15.20 m ～ 10,668 m
空気中浮遊汚染物質レベル	ISA-71.04–1985 の定義により G1

23
デルへのお問い合わせ

メモ: お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **support.dell.com** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. 米国在住以外のお客様は、**support.dell.com** ページ下の国コードを選択してください。**All** を選択するとすべての選択肢が表示されます。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。